

(3) 平面計画

① 平面計画の方針

・校舎は、コンパクトでシンプルな構成とし、光庭を中心に3つの階段が回遊動線につながる利便性の高い平面計画とします。配置計画によって得られる環境条件や、敷地特性に適した最適な教室配置・ゾーニングによって、快適で安全な教育環境の整備を図ります。

② 1階平面計画

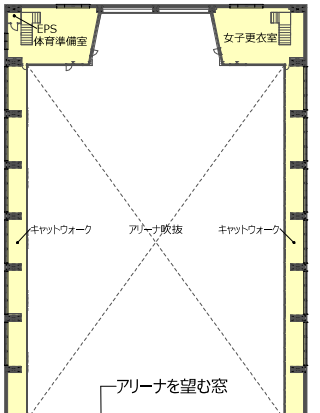
- ・グラウンドに面して昇降口を配置。授業間の容易なグラウンド移動と災害時の迅速避難に有効です。
- ・ピロティ部の吹き溜まり積雪対策については、冬期の雪堆積場所となるグラウンドが近接しているため、排雪が容易です。
- ・広いエントランスホールに面して2つの階段を設置し、登下校時の混雑軽減に配慮した計画とします。エントランスホールはスキー学習で使用する道具置場として十分な面積を確保します。
- ・開放事業を行う図書室・郷土資料コーナーと第2音楽室を昇降口に隣接して配置。利便性とセキュリティに配慮した計画とします。また、音楽室を1階に設けることで屋内運動場への楽器搬出入の負担軽減につながります。
- ・図書室は、廊下・昇降口に面して、出来る限りガラス張りとする事で、開放性と視認性を高め、利用頻度の向上と地域交流を促す計画とします。
- ・機械室、ポンプ室を校舎東側に集約配置し、児童の活動エリアと明確に分離する計画とします。
- ・給食調理室は住宅地から離れた東側に設け、屋上のファンルームから排気を行う計画とし、近隣への臭気対策に配慮した計画とします。
- ・地域の避難所となる屋内運動場に近接して給食調理室と家庭科室を設けることで、災害時の炊き出しなど防災拠点として有効な計画となります。また、非常用水栓のある受水槽を設置するポンプ室も屋内運動場横に配置し、緊急時の供給用水の提供にも有効な計画とします。
- ・光庭は、児童会館の屋外スペース、家庭科室・通級エリア・用務員室の屋外活動スペースや作業スペースなど身近な屋外空間として活用できる計画とします。
- ・児童便所は、校舎中央に配置し利便性に配慮した計画とします。また、校舎・児童会館共に男女の区分けがないオールジェンダー対応の個室トイレを設置します。
- ・通級指導教室は、グラウンドや教室・階段など学校児童の活動エリアから離れた南側に配置し、静かで落ち着いた空間とします。
- ・屋内運動場は、グラウンドに広く面した配置とし、グラウンドとの連携に配慮した計画とします。
- ・併設する児童会館は西側と南側に面した建物角に配置し、周辺からの視認性の向上と事務室からの管理視野の広がりや内部への採光に配慮した計画とします。
- ・多目的ホールは、学校からも利用しやすいエントランスホールに近接した配置とし、連携と交流を促す計画とします。また、音楽室に隣接することで、多目的ホールでの小演奏会など多様な利用も考えられます。



(3) 平面計画

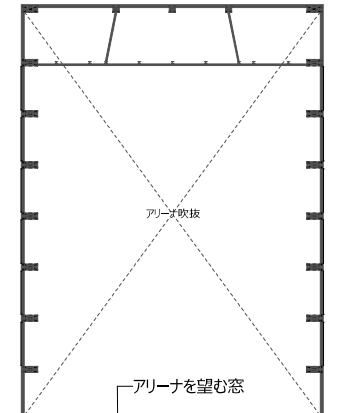
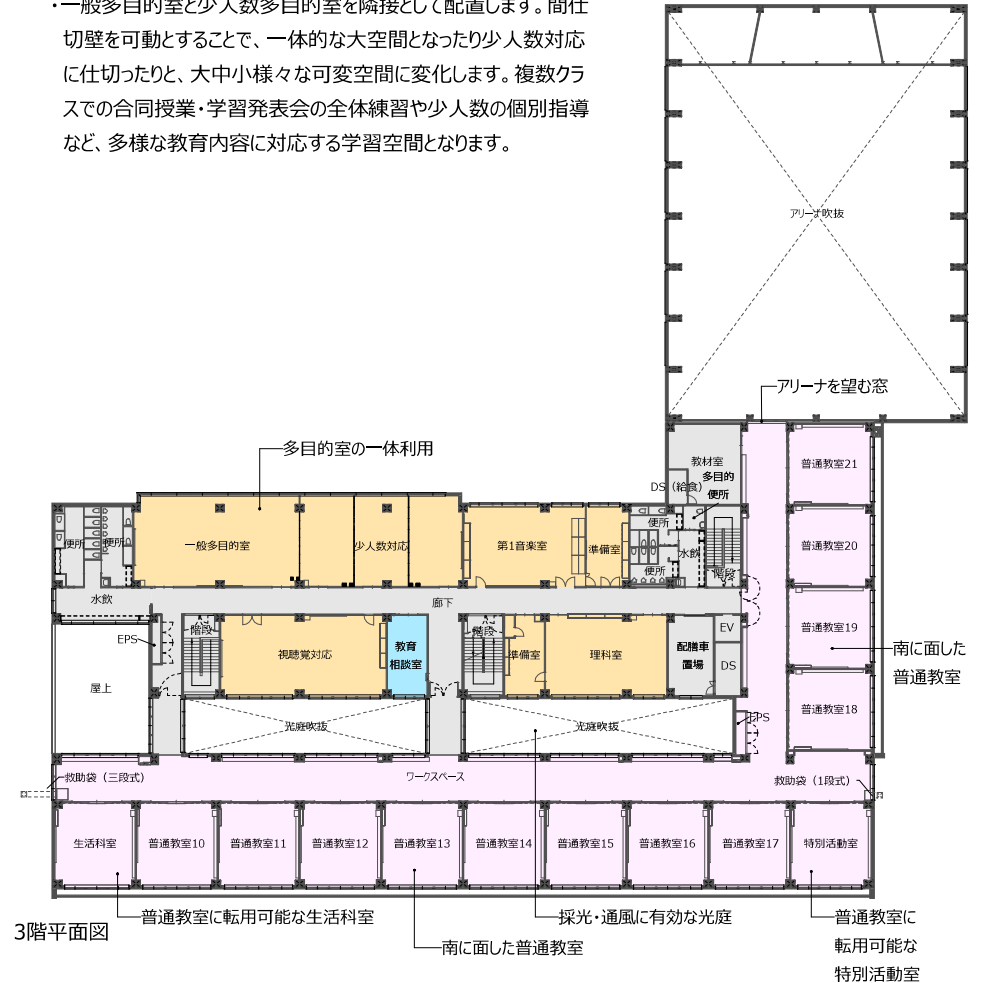
③ 2階平面計画

- ・普通教室と特別支援学習室は、陽当たりの良い南面に配置します。
- ・職員室などの管理エリアを集約配置します。利便性の向上に加え、保健室・PTA室・教育相談室との密な連携とフレキシブルな利用が可能な計画とします。また、階段を近接することで上下階への移動負担軽減を図ります。
- ・職員室・校長室から通学路とグラウンドが望める計画とし、管理視野の強化を図ります。
- ・ワークスペースが光庭に面することで、採光・通風を取り込める明るい空間となります。
- ・児童便所は、2か所に分散配置します。利便性と休み時間の集中利用の緩和に効果的と考えます。また、多目的便所のある児童便所を特別支援学習室に近接配置します。
- ・備蓄庫を浸水被害の受けにくい2階に配置します。階段・EVの近くに配置することで搬出入に配慮した計画とします。
- ・児童会館の多目的ホールが面する廊下とアリーナ吹抜とつながるワークスペースをガラス張りにし、併設施設が見える設えとすることで、地域や異学年の活動風景を介した交流促進を図ります。



④ 3階平面計画

- ・普通教室は、陽当たりの良い南面に配置します。
- ・ワークスペースを光庭に面することで、採光・通風を取り込める明るい空間となります。
- ・児童便所は、2か所に分散配置します。利便性と休み時間の集中利用の緩和に効果的と考えます。
- ・一般多目的室と少人数多目的室を隣接として配置します。間仕切壁を可動とすることで、一体的な大空間となったり少人数対応に仕切ったりと、大中小様々な可変空間に変化します。複数クラスでの合同授業・学習発表会の全体練習や少人数の個別指導など、多様な教育内容に対応する学習空間となります。



- 普通教室ゾーン
- 通級指導教室ゾーン
- 屋内運動場ゾーン
- 管理ゾーン
- 特別教室ゾーン
- 児童会館ゾーン
- サービスゾーン
- 共用ゾーン

(9) 工事スケジュール・施工計画

① 工事スケジュール

2024年度(令和6年度)	2025年度(令和7年度)	2026年度(令和8年度)	2027年度(令和9年度)	2028年度(令和10年度)
部分仮設校舎建設 ① ②-1 ②-2 プール・既存増築校舎解体 全体工程・グラウンド使用制限：4年5ヶ月（工事期間中一部仮グラウンドとして利用） 部分仮設校舎期間：2年3ヶ月 新校舎・屋内運動場完成：2年10ヶ月	③ 新設校舎・屋内運動場建設		④ 部分仮設校舎解体 既存校舎・屋内運動場解体	⑤ グラウンド整備

・引越しは1回（部分仮設で一部引越しは2回） ・校舎棟建設まで仮グラウンド設置可能。 ・全体工期（4年5ヶ月）。新校舎使用開始2027年～

② 施工計画

